

作成日 2025 年 5 月 8 日
(最終更新日 20 年 月 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 5222

課題名 : トーリック眼内レンズ挿入白内障手術におけるデジタルマッピングと
マニュアルマーキングの術後乱視矯正比較

1. 研究の対象

2024 年 1 月～2025 年 4 月に当院で白内障手術を受け、トーリック眼内レンズを挿入した方

2. 研究期間

2025 年 7 月 (研究実施許可日) ～2026 年 12 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2025 年 7 月 1 日

提供開始予定日 : 該当なし

4. 研究目的

白内障手術において、角膜乱視を矯正するためにトーリック眼内レンズ (toric IOL) が使用されます。効果的な乱視矯正を行うために、toric IOL の良好な位置合わせが重要です。toric IOL 挿入時のマーキング方法は様々あり、近年はデジタルデバイスを用いた位置合わせの技術が登場しました。デジタルデバイスを用いた方がより正確であったとの報告があります。当院での ARGOS® biometer によるデジタルマッピングと直視下によるマニュアルマーキングでの術後乱視矯正を比較検討することが目的です。

5. 研究方法

2024 年 1 月から 2025 年 4 月の間に、当院にて白内障手術を施行された患者の医療記録を参照し、デジタルマッピングを施行した群とマニュアルマーキングを施行した群を比較し、データ解析ソフトを用いて統計解析を行います。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、眼軸長、マーキング方法、術前の角膜乱視、術前後の円柱度数 等

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本校単独研究

9. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費はありません。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ご了承いただけない場合、得られた試料・情報は全て破棄します。ただし、ご了承いただけない旨の意思表示があった時点で既に研究成果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあります。研究への利用を拒否することを決められた場合、下記の連絡先までお申出ください。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学学校病院眼科 竹内 大

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2

連絡先：04-2995-1511（内線 2333）電話対応時間 9時から16時

masatake@ndmc.ac.jp

当院の研究責任者：防衛医科大学学校病院眼科 竹内 大